

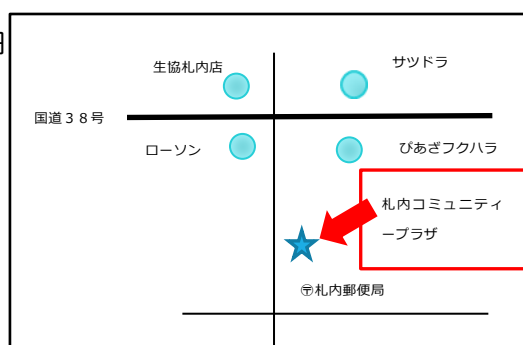
第45回 保護者と教職員の集い

秋も深まり、木々も彩りを増す中、今年も「保護者と教職員の集い」の時期が近づいて参りました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、人が集まる場にも制限がある中ではありますが、保護者のみなさまの「つながる」場としての集いを今年も開催することにしました。



十勝で活躍されているお父さんお母さんご兄弟たちをお迎えしてのトークライブ、今年でPart 13となります。子どもたちの育ちや学びについてのお話をお聞きするために、今回は全体会を持たずに、グループごとに分かれておしゃべりする時間のみを設定いたしました。ぜひぜひ、先生方、保護者のみなさまお誘い合わせの上、たくさんの方のご参加、お待ちしております。

- 期日 2020年11月23日(祝・月) ※勤労感謝の日
- 場所 幕別町札内コミュニティプラザ
(幕別町札内青葉町311-11)
- 主催 十勝特別支援教育振興協議会
- 日程 9:30 ~ 9:45 受付
9:45 ~ 11:45 おしゃべり会



～グループに分かれ、少人数でお話します～

- 内容 トークライブ 『すてきなおかあさんたちのおはなし ～ Part 13』

*活躍されている元気で明るいお母さん方と、すてきな時間を過ごしましょう！

- ゲストの方 ★藤田 佳奈子さん ★高橋 寿子さん ★吉田 明子さん ★菖蒲 淳子さん
- 申し込み 会場に人数制限があるため、事前にどのゲストさんのお話を聞きたいか希望を取らせていただきます。参加希望の方は、申し込み用紙にて、担任の先生までお申し込みください。
受付期間は、10月30日(金)までです。
- その他
 - ・例年行っている託児は、今年度は行えません。大変申し訳ございません。
 - やむを得ずお子さんを連れてこられる場合は、保護者の責任のもと、お願いします。
 - ・参加される方は当日受付で、住所、連絡先(電話番号)、体調について記入していただきます。新型コロナウイルスの感染が発生した場合は、保健所などの公的機関へ情報を提供することがありますことをご了承ください。当日の検温等、ご自身の体調の確認とマスクの着用をお願いします。
 - ・例年広くご案内していましたが、今年度は、十勝管内小中学校特別支援学級在籍のご家庭のみとさせていただきます。

第45回 保護者と教職員の集い 参加申し込み書

*お話を聞きたいゲストさんの希望があれば、第1希望、第2希望にご記入ください。どなたでもかまわない場合は（ ）に○をつけてください。また、お悩みや疑問などご自由にご記入ください。

学校名	
フリガナ 氏名	保護者 教職員 (いずれかに○を付けてください)
お話を聞きたいゲストさん	第1希望 (ゲストの方に聞いてみたいことなど)
	第2希望 (ゲストの方に聞いてみたいことなど)
	() どなたでもかまいません。
その他、お悩みや疑問などご自由にお書きください。	

担任の先生へお渡しください。申込〆切、10月30日(金)です。

＊ ＊ Guest Mother ～ゲストママさんたちをご紹介します！～ ＊ ＊

★藤田 佳奈子さん

ゲストママを引き受けてくださり今年で4回目。自閉スペクトラム症で聴覚過敏を持つ小学校5年生男の子のお母さんです。今年度より息子さんの学校生活のサポートに支援員さんも加わり、コロナ騒動の不安の中ではありますが、何とか学校生活を送れているようです。成長に伴い自我が芽生え、登校時の行き渋りを始め、やりたくないことへの主張をするようになり、今までスムーズに過ごしてきたことがうまくいかないことも増えました。また、体の成長も著しい時期で性教育の難しさや大切さにも直面しておられるようです。

昨年より十勝発達のご案内になる子どもの親の会 Hope（八嶋利永子さん代表）で行っている放課後子どもクラブの有償ボランティア活動も始められました。自身の息子さん含め、刺激の少ない少人数で、発達の気になるお子さんの放課後や、学校へ行きづらさを感じているお子さんの居場所作りに取り組んでおられます。そこでは、将来の社会生活や自立へ向けての適性を楽しく身に付けるための活動を行っておられるそうです。

★高橋 寿子さん

支援学級在籍の小5の娘さん、帯広養護学校在籍の中1の息子さん、高校2年生の娘さん、の3人を育てながら、あみぐるみ作家・レジン作家、白樺細工工房のアシスタントなど忙しくこなすクリエイター&スーパーママです。優しく強くおおらかにお子さんたちの成長と向き合う姿にはいつも学ばされます。

お子さんの就学や進路のこと、各種事業所や放デイ、障害福祉サービスの利用のこと、お仕事と子育ての両立にまつわることなど、話題もたいへん豊富なお母さんです。昨年は、「生活のすべてを子どものために犠牲にするのではなく息抜きが必要」「ONとOFFのメリハリをつけて、がんばろうとすぎないこと、楽にやりましょう」などのお話が参加された方々の共感を呼びました。大好評につき今年も快く引き受けていただきました！

＊ ＊ Guest Mother ～ゲストママさんたちをご紹介します！～ ＊ ＊

★吉田 明子さん

成人されたお子さんと現在中学生のお子さんを育てておられるお母さん。昨年に引き続き、今年もゲストママを引き受けてくださいました。小、中学校と支援学級を利用しながら、常にお子さんの将来を見つめ、関わり、道筋をつけてこられました。必要な支援と理解を求めるために、担任ともとことん話すことを実践。幕別町親の会カラフルでは、就学前のお母さんのよきアドバイザーとして活躍されています。

自分の子どもが社会に適応する為には必要なことは何かと考え、障害に関わるお仕事をすることで、公的な仕組みや環境について理解し、子どもに提供できるだけの知識を得ようと思ったことがスタートだったそうです。そしてその結果、大切な時期が幼児・学童期であり、青年期では修正が難しくなることなどについて、今子育てされている親御さんに「なぜ今必要か？」を知ってもらう機会の1つになればいいなあと考えておられるとのこと。また、ご自身の子どもの学童期での工夫や、起こってしまった問題をどの様に対処してきたか？など、グレーゾーンの子どもの対応や、仕事を通して得た、重度のお子さんへの課題など、ヒントになるお話ができればいいなと思っておられます。

★菖蒲 淳子さん

支援学級在籍小3の自閉スペクトラム症の娘さん、小2の娘さん、2人のお子さんのお母さん。今回、初めてゲストママを引き受けていただきました。昨年までゲストママをしてくださった二上さんのご推薦で繋がりました。

幼児期に診断を受けた娘さんの実態を受け入れてこられました。お母さん自身が悩みながらも、周囲の方々に娘さんのことを伝えてきたことで、理解や支援につながっています。就学前から病院や言葉の教室での療育、就学後の放課後等デイサービス等の利用と、娘さんに必要な療育を選択してきました。子どもの将来を見据えて、アクティブに行動されるお母さんです。「今、一番感じている事は、私たち家族に関わってくださってる方々への感謝です！」と話すお母さん。これから出会う保護者の皆さんにも、元気でいてもらいたいと思っておられるそうです。皆さん、たくさんお話ししましょう！！